［方針４］資産運用

私たちは、将来にわたってお客さまに保険金等を確実にお支払いするため、資本・収益・リスクを一体的に管理する戦略的な経営管理手法（ＥＲＭ）のもと、資産運用の高度化に取り組みます。

具体的な取り組み内容

○長期にわたるお客さまへの保障責任を確実に果たすには、経営を取り巻く様々なリスクを資本の一定範囲内に適切にコントロールしつつ、安定的な収益の確保を追求していくことが重要です。
このため、当社では、同一の評価基準で定量化した資本・収益・リスクを一体的に管理し、健全性を確保しつつ収益を追求する戦略的な経営管理手法（ＥＲＭ：エンタープライズ・リスク・マネジメント）のもと、収益源泉の多様化を進めております。

○具体的には、安定的な収益が見込める公社債等の円金利資産を中心とした取り組みを基本とし、ＥＲＭのもとで健全性の確保に十分配慮しつつ、資産運用収益の向上に努めております。

○また、当社は機関投資家として社会的責任をより一層果たしていくため、国連が提唱する機関投資家の行動規範である『責任投資原則（ＰＲＩ）』に署名しております。
同原則に基づき、ＥＳＧ（環境・社会・企業統治）の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を推進しております。
加えて、『責任ある機関投資家の諸原則≪日本版スチュワードシップ・コード≫』を受け入れ、投資先企業の健全な成長を促すことによる中長期的な投資リターンの向上を目指し、投資先企業との建設的な対話等に取り組んでおります。